

UV インク及び洗浄液 取扱時の身体保護に関する安全性情報

UVインクをご使用になるユーザー様へ

UV インク及び洗浄液について、取扱時の身体保護に関する安全性情報をご連絡いたします。

- ・取扱の際には身体への接触を防ぐため、下記の安全対策を必ず実施して下さい。
- ・身体に接触した際には、表 2 に記載されている応急措置を必ず実施して下さい。

※本文書は身体保護に特化した安全性情報であり、SDS からの抜粋で構成されています。詳細情報およびその他の情報についてはご使用になるインクおよび洗浄液の SDS を参照して下さい。 [SDS 情報\(https://mimaki.com/supply/sds/\)](https://mimaki.com/supply/sds/)
SDS の情報は定期的に更新されます。弊社ホームページより入手可能です。

1. インク及び洗浄液との接触による諸症状(SDS より抜粋)

- ・市販品を含む全ての UV インク及び洗浄液は皮膚に対し刺激性、アレルギー性を与える物質を含有し、皮膚接触により下記の諸症状を起こすことがあります。
- ・特にアレルギー性皮膚炎に関し、個人の体質によっては一度皮膚アレルギー性を獲得すると、次回以降微量のインクが付着しただけでも症状が重くなります。

- ・皮膚接触時の諸症状
刺激を伴う発赤、かぶれ、火傷のような症状
アレルギー性皮膚炎(上記諸症状を併発することがあります。)

2. UVインク及び洗浄液取扱時の安全対策(一部 SDS より抜粋)

1. のインク接触による危険性をご理解のうえ、取扱時には以下の安全対策 I,II を実施して下さい。

2-1 安全対策I 安全保護具着用前のご確認


- ・インク付着によるコンタクトレンズの溶解により眼球に重篤な損傷を与える可能性があるため、眼鏡に替えて下さい。
- ・肌の露出を極力抑えるため、長袖、長ズボンの作業着を着用して下さい。
- ・靴も耐薬品性の安全靴を着用して下さい。

2-2 安全対策 II 安全保護具の着用

安全保護具一覧(着用厳守)

- ・手の保護
右表 1 の推奨手袋の 2 重着用※、又はニトリルゴム製手袋
- ・眼の保護
サイドシールド付き安全眼鏡
- ・呼吸器の保護
検定済み有機溶剤用吸収缶付き半面又は全面防毒マスク
- ・保護衣
白衣

表 1 推奨手袋一覧

	PE(ポリエチレン)製手袋	ラテックス製ゴム手袋
会社名	アズワン株式会社	アズワン株式会社
商品名	サニメント手袋(エコノミー)	ナビロール手袋(パウダーフリー)
M サイズ品番	1-6163-02(サイズ S:-01,M:-02,L:-03)	0-3593-22(サイズ S:-23,M:-22,L:-21)
耐インク性	有り:インクが透過しません	無し:インクが透過します
作業性	悪:ガサガサして滑りやすい	良:手にフィットし滑りやすい
製品外観		
※2 重着用	内側に着用	外側に着用

3. インク及び洗浄液が接触した場合の応急措置

下表にインクが接触した場合の応急措置を記載します。(SDS より抜粋)

表2 応急措置一覧

	応急措置
目に入った場合	直ちに清浄な多量の水で最低 15 分以上洗眼する。 速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚付着した場合	直ちに汚染された衣服・靴を脱がす。 直ちに付着したインクを紙・タオル等で拭き取り、多量の水と石鹸で皮膚を洗浄する。 医師の診断を受ける。 汚染された衣服・靴は再使用する前に洗浄する。
吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。 咳、頭痛、喉の痛み等の症状が現れた場合は、医師の診断を受ける。
誤飲した場合	医師の指示が無い場合、吐かせてはならない。 コップ 2 杯程度の水を与える 被災者に意識が無い場合は、口から何も与えてはならない。 直ちに医師の手当てを受ける

※注意事項

事故に伴い急性中毒の恐れがある場合、
該当インクの SDS の「1. 化学品及び会社情報」
記載の「公益財団法人 日本中毒情報センター
中毒 110 番」へ至急連絡して下さい。

4. 廃棄方法

廃液は関連法令に基づいて自社で産業廃棄物として適正に処理するか、
産業廃棄物処理業者に処分を委託して下さい。(SDS より抜粋)

- ・移し変え時の廃液の飛散を考慮して、廃液ボトル周囲にウェスを敷いて下さい。
- ・必ず安全保護具を着用してインクの接触から身体を保護して下さい。



作業例 インク廃液移し変え